



うつわから 広がる食育 ②

資源と環境の教育を考える会「エコが見える学校」
関東学院大学非常勤講師
三信化工株式会社

海老原誠治

えびはら せいじ

佐賀大学物理学科卒業、佐賀大学・窯芸教室 宮尾
正隆教授に師事、佐賀県立有田窯業大学校・常勤
講師を経る。

文化の尊重と交流

他国から影響を受けた食べ物

真剣勝負、「じゃんけんぽん!!」。なんてことない金平糖^{こんぺいとう}ですが、好きな色を巡る争奪戦。食べてしまえば同じなのに、何に突き動かされてか…。金平糖を添えた和食給食での、本気の一コマです。

食文化の話をする前に、必ずする話があります。授業の中心は、うつわ・文化などいけば日本のおすすめポイントですが、これは日本が他国より優れているという訳では決してなく、他国にもさまざまな優れた文化がある、互いに敬意影響し合うもの、このことをまず先に伝えます。

「これなーんだ?」、映される画像に「こんぺーとー。ポーロ。カステラ!!」と声が挙がります。「じゃー、どこの国で生まれたお菓子かな?」「韓国? 中国…?」、さまざまな意見が出ます。ポルトガル由来であることに、納得、驚き、さまざまな反応。「馴染みある食べ物でも、実はいろんな文化の影響を受けているんだね」。

日本に伝わった唐草模様

次に見せる大きな布、「泥棒の風呂敷!」、どの学校でも必ず挙がる声、世代差がどれほどでも連想が同じことにこちらが驚き。「ぐるぐるうねうねした模様、お皿にも似



▶和食給食に添えた金平糖を食べる
女子児童
(東京都板橋区立
大谷口小学校)



◀泥棒?を連想する風呂敷の
唐草模様



▼古伊万里の蛸唐草



◀タイルで壁面が覆われるイスラム教のモスク
▼トプカプ宮殿のア
ラベスク模様のタイル
(トルコ・イスタンブール)





た模様があるね。『唐草』^{からくさ}ってって植物のツルや茎・葉っぱが伸びてつながる様子をデザインしたんだって。すごく古くから日本人には馴染みがあるね。だけど実はさらに大昔、ピラミッドの時代、エジプトやギリシャの国の人が作ってたんだって」。

唐草模様は、紀元前の地中海沿岸が起源とのこと。陸や海のシルクロードやガンダーラなどを経て、法隆寺や正倉院にまで至り終着点となります。アラベスクとは海外における唐草の別称、旅すると世界規模で各地に広がり定着したことが、さまざまな織物・遺跡・タイルを通じてわかります。

文化は、互いに敬い影響し取り入れられるもの。そのつながりを伝える金平糖・ポーロ・唐草は、生きた教材でも大御所の生き証人です。和食給食のおまけとして、ポーロと金平糖を添えます。卵・小麦粉不使用、アレルギー対応のポーロもありました。



▲アンコールワットでは、壁面が唐草をはじめ多くの文様で埋め尽くす
▶近くのバンテアイ・スレイ遺跡には、周囲に唐草が配された「東洋のモナリザ」がある(カンボジア)



「キラキラ形の金平糖。目・口を通し、歴史を伝えるの、何色の星かな？」。

※食育現場のお手伝いを目指し、プログラムの模索をしています。ご要望等、お気軽にご連絡ください。

[三信化工(株) 営業開発部 Tel. 03-3539-3424]

知りたい! うつわと食のミニ知識

美術の交流

握りずし・天ぷらなど、日本の食文化の海外への広がりには身近に感じます。少しさかのぼると、さらに多くの交流を見ることができます。18世紀、日本と中国の陶磁器に魅せられ始まったドイツの陶磁器「マイセン」では、日本から輸出された古伊万里から、柿右衛門様式の構図を模倣していました。19世紀になると、浮世絵や多くの工芸はジャポニズムとして、印象派やアール・ヌーヴォーの斬新な構図・自然観などヨーロッパの美術・流行へ影響を与えます。その象徴として有名なのが、モネ『ラ・ジャポネーズ』(右絵)やゴッホ『タンギー爺さん』。武者が浮き上がる着物・散りばめられた団扇絵、モネの絵からは、大胆な構図・メリハリのある色彩構成へ、驚き惹かれたことが伝わります。日本文化の発着信を比較する授業などいかがでしょう。



クロード・モネ『ラ・ジャポネーズ』
ボストン美術館

1951 Purchase Fund 56.147 Photograph (c) 2016 Museum of Fine Arts, Boston. All Rights Reserved. c/o DNPartcom (MFA000099)